

ふつさ市議会だより

No.245 令和8年1月25日
発行／福生市議会

〒197-8501 福生市本町5番地
☎042(551)1511(代表)
☎042(551)1523(直通)



X (旧Twitter)



Facebook



▲消防団員による一斉放水(令和8年1月11日 福生市消防団出初式)

令和7年第4回定例会
12月2日～12月19日

令和7年度一般会計補正予算等を可決

- ・「東京都福生市内に落下したパラシュートについて」の抗議文を提出
- ・再審法(刑事訴訟法の再審規定)の見直しを求める意見書を提出

令和7年第4回定例会は、12月2日から12月19日までの会期18日間で開催されました。
条例の一部改正や補正予算など、市長提出議案等17件、議員提出議案1件が審議されました。また、17名の議員による一般質問が行われました。
市民等から提出された陳情2件は、不採択となりました。

東京都福生市内に落下したパラシュートについて(抗議)

令和7年11月20日、福生市内の熊川児童館敷地内及び屋上に、米軍の主降下傘及び誘導傘(パイロットシュート)が落下する事故が発生した。

横田基地では、平成30年4月に羽村市内にパラシュートの落下、令和2年7月に立川市内で発生したパラシュートの落下及び福生市内で発生したフィンの落下、本年11月18日に羽村市内で発生した機外降着及びパラシュートの一部の落下と、一歩間違えば人命に関わる重大な事故が立て続けに発生している。このことは、周辺住民の不安を増幅させ、日常生活環境を脅かす事態である。

横田基地においては人員降下訓練が度々行われており、基地運用の安全対策を徹底するよう再三要請しているにもかかわらず、主降下傘及び誘導傘(パイロットシュート)の落下事故が発生した。原因究明と再発防止策を講ずるまでは、同様の訓練は行わないことを再三要請してきた中で、本年11月18日に発生した機外降着について徹底した点検を実施し、パラシュート降下運用の安全性について確信が得られたため訓練を再開するとしたその当日に、子どもたちが集う児童館の敷地内で発生した、人命に関わりかねない大変重大な事故であり、また、事故発生に関する情報が米軍側から一切提供されないまま秘匿されていたこと及び許可なく市公共施設の敷地内に侵入していたことは、極めて遺憾であり強く抗議する。

貴職においては、この状況を重大なものと認識されパラシュート落下の原因究明と安全対策、全ての訓練に関する安全教育の更なる徹底を図ることはもちろん、実効性のある再発防止策を講ずるまでは同様の訓練の中止を求める。

基地運用に関して、迅速かつ正確な情報提供を行い、安全対策の徹底を図ることを強く要請する。

令和7年12月12日

(提出先 在日米軍兼第5空軍司令官、在日米軍横田基地第374空輸航空団司令官)

主な内容

- ◆一般質問(要旨)……2～5面
- ◆議案の審議結果……6面
- ◆可決等された案件……6面
- ◆委員会の審査……7～8面
- ◆特別委員会活動……8面

◆会議の開催状況と審議日程◆	
▼11月	7日 議会運営委員会 25日 横田基地対策特別委員会 議会運営委員会 議会運営委員会
▼12月	2日 本会議1日目 議会運営委員会 3日 本会議2日目 議会運営委員会 4日 本会議3日目 議会運営委員会 5日 本会議4日目 全員協議会 9日 建設環境委員会 10日 市民厚生委員会 11日 総務文教委員会 12日 横田基地対策特別委員会 議会運営委員会 16日 議会運営委員会 19日 本会議5日目 全員協議会 議会運営委員会
▼1月	13日 議会運営委員会 16日 議会運営委員会 20日 臨時会

一般質問（要旨）「市政のここを問う」

今定例会では、17名の議員が市政全般にわたり一般質問を行いました。

要旨は1～2問とし掲載しました。

会議録は2月上旬頃に市役所情報コーナー及び図書館に配置します。

また、福生市ホームページにも掲載しますので、ぜひご覧ください。

なお、一般質問通告一覧は、福生市議会ホームページに掲載しています。

※録画映像を議員名左横のQRコードよりご覧いただけます。



議員BOOK

▶福生市議会HP
(通告一覧へリンクします)



令和8年度予算編成について

質問 令和8年度予算編成の基本的な考え方、重点施策などを伺う。

市長 令和8年度は老朽化した施設等への対応や経常経費の大幅な増加などが想定されており、引き続き経費節減と財源の重点的、効果的配分が重要と考える。主な重点施策は観光施策の強化、平和への啓発強化、防災対策のさらなる推進、JR福生駅周辺整備などで、「人を育み 夢を

育む 未来につながるまち ふっさ」の実現に向け各種施策を推進する。

教育長 教育委員会の重点施策として、不登校の生徒に配慮した学びの多様な学校「福生市立牛浜もくせい中学校」の開校、小学校に日本語学級と自閉症・情緒障害特別支援学級の新設準備、部活動の地域展開トライアル事業、福生野球場の全面人工芝化等の改修について推進する。

防災・災害対策について

質問 教員の防災教育に関する指導力の向上について伺う。

教育長 東京都安全教育プログラムを基本に、年間を通じ意図的・計画的に安全教育・防災教育を実施。実践を通じ指導力向上に取り組むほか、毎月の避難訓練では、多様な場面や条件を設定し、初動対応力や判断力を高めるよう取り組んでいる。



正和会
小林 貢 議員



▲福生市役所外観

企業との連携による地域課題解決の推進について

質問 企業との包括連携協定の締結状況と今後の取り組みを伺う。

市長 令和7年度は新たに、西武信用金庫と子育て及び移住定住促進や地域活性化等について、佐川急便株式会社と大規模災害時の支援、地域の安全や環境保全等についての協定を締結した。今後は企業などとの連携に係る基準の策定を検討しており、手続や判断基準を整理すること

で、官民連携の目的や方向性の明確化と公平性や透明性を確保し、市民の皆様に対する説明責任を果たすことができるものと考えている。

福生市の小・中学校における多文化共生について

質問 小・中学校での日本語指導の現状や課題を伺う。

教育長 外国籍などにより日本語での会話や授業の理解が困難な児

童・生徒が一定数在籍しており、福生第一小学校と福生第二中学校に日本語学級を設置、必要に応じスクール・アシスタント・ティーチャーや日本語適応支援員を活用した支援体制を構築しているが、日本語指導が必要な児童の急増や地理的要因による機会不均衡などの課題が生じており、令和9年度に福生第二小学校に日本語学級を新設する準備を進める。



正和会
山崎 貴裕 議員



避難所運営等について

質問 10月に実施した福生市総合防災訓練では避難所訓練に対し「アクションカード」という新たな手法が導入された。導入に至った背景と目的、参加者の反応や、運営面で得られた手応え、課題等の評価を伺う。

市長 従来の避難所訓練では同様の訓練を毎年繰り返し行い、技術の修得を図ってきたが、自主防災組織より「もっと実践的な訓練をした

い」などの意見があり、新たな取り組みとして導入。アクションカードは災害応急対応を迅速に行うための指示書で、避難所の開設・運営を熟知していない方でも、実災害で避難所に参集したことを想定し、カードに基づく行動を取ることで迅速に避難所開設が実現することを目的としている。自主防災組織との対話や市民向け防災講座での参加者との意見

交換を基に市職員により企画・作成したもの。訓練の感想としては、初の試みで多少の混乱はあったが、実災害が想定され、おおむねよい取り組みであるとの意見を多くいただいた一方で、災害発生時の本格的な運用に向け改善すべき点も見つけられた。今後さらに実効性を検証し、令和8年度はより一層、本市の防災力を高める意義のある訓練としたい。



正和会
森田 哲哉 議員



外来種や有害鳥獣への対策等について

質問 本市ではアライグマやハクビシンなどの外来種に対し毎年対策を講じ防除の成果を上げているが、近年、有害鳥獣であるネズミやカラスによる被害の声が市民から多く寄せられている。本市における外来種や有害鳥獣による被害の把握と駆除体制など現状の対策について伺う。

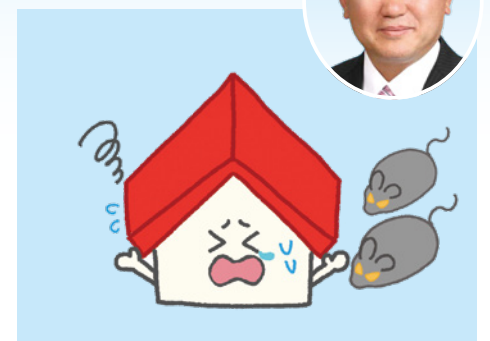
市長 アライグマ、ハクビシンの防除は、令和6年3月策定の第2次

福生市環境基本計画で市民等と連携して対策を講じる重点課題と位置づけ、東京都が策定したアライグマ・ハクビシン防除実施計画と連携しながら継続的に対策している。委託業者とともに相談者等の敷地や情報提供されたポイントにわなを設置することなどにより、外来種への防除を講じている。一方、ネズミやカラスについては、適切な駆除方法や効果

的な予防策など専門業者による対応が必要となり、併せて建物所有者等による適切な建物の管理やごみの管理が不可欠であるため、駆除の相談や防除等について知見を有する公益社団法人東京都ペストコントロール協会を紹介している。今後も市に寄せられる相談などに対し、優先度やコストを考慮し、持続的な対策を図りたい。



正和会
仲間 正司 議員



個別避難計画について



正和会
武藤 政義 議員



▲茶室福庵(市HPより)

質問 災害時における個別避難計画の進捗状況を伺う。

市長 個別避難計画は令和6年度までに田園地区を優先地区として作成。対象を市内全域へ広げるため、個別避難計画推進委員会で計画作成の推進体制や作成方法を検討。避難行動支援希望者に対する個別避難計画を令和8年度から3か年をかけ作成することとした。令和8年度は計

画作成に必要な情報を本人や家族等へ調査票により照会し、令和10年度までに避難行動支援を希望する全ての方に対する個々の状況に対応した計画の作成を行う予定である。

文化芸術の振興について

質問 本市が行う文化・芸術振興の具体的な取り組みを伺う。

教育長 令和7年3月策定の福生市教育ビジョン2025-2029で、施策

の方向性の一つに「文化・芸術が花開く豊かな地域づくりの推進」を位置づけ、市民文化祭の開催や市内公民館での各種催しの支援、和文化の体験として茶室福庵を活用した事業など、市民の文化・芸術の創造と普及に取り組むほか、市が収蔵する栗原一郎氏や窪田成司氏など本市ゆかりの作家の展示会を市内各所で開催し、芸術鑑賞の機会を提供している。

「福生市立学校在り方検討委員会」からの提言について



正和会
清水 義朋 議員



▲福生市立学校在り方検討委員会報告書の表紙

質問 福生市立学校再編に向けた23の提言について、総括的な内容は、また、どのように周知していくか。

教育長 本検討委員会では、4つの視点、23の項目に沿って提言がされている。視点1「市立学校の現状」では、児童・生徒数の推移や校舎の老朽化の状況等を踏まえた学校再編の必要性について。視点2「これからの教育の在り方」では、知・

徳・体の三育を基本として、使える英語の習得や情報活用能力の育成等、本市が今後、力を入れて特に取り組むべき教育課題について。視点3「これからの学校の在り方」では、小中一貫校や義務教育学校も含め、将来的には小学校3校程度、中学校2校程度に学校を再編する必要があること。視点4「実現に向けた調整事項」では、学校が地域の防災拠点

であることや市内の他の公共施設との関係性を踏まえ、学校再編を計画的に進める構想の策定等について、以上4点を提言されたものである。また、本提言の周知については、提言内容を今定例会で報告した後、PTAやコミュニティ・スクール委員などの学校関係者、町会・自治会等地域住民の方などに丁寧に説明を行う予定である。

次世代の移動支援について



公明党
原田 剛 議員



質問 社会の変化を見据え、次世代の移動支援を本市にどう整備していくか所見を伺う。

市長 近年、自動運転技術を活用した次世代の移動支援策が注目されている一方、本市はコンパクトな市であり、鉄道や路線バスなどの利用圏が市街化区域の大半をカバーしているため他市と比べて移動利便性は高い状況にあると認識している。た

だし、高齢者や障害者等の交通弱者にとっては市内の一部に公共交通の空白地帯となる地域もあるため、福祉バスのルートを増設するなどさらなる利便性の向上に努めている。今後も交通需要や地域特性に照らし先行自治体の取組状況を注視していく。

不登校について

質問 本市の不登校の現状及び対応について伺う。

教育長 本市の不登校の現状は、令和6年度の文部科学省の調査で不登校児童・生徒数は、小学校が55名、中学校100名の合計155名であった。対応については、まず各学校が登校に向けた働きかけを丁寧に行い、状況に応じて校内別室での指導を勧めるとともに、教育相談室、学校適応支援室、SSWなどが関わり専門的な支援を個別に行っている。

防災行政について



公明党
川崎 善友 議員



▲アクションカードの一例

質問 福生市総合防災訓練における避難所訓練に対して今回新たに「アクションカード」を取り入れた経緯と今後の課題を伺う。

市長 導入の経緯は、参加者からより実践的な訓練をしたいという要望により導入。避難所開設等の行動を迅速に行うための指示書で、カードに基づく行動することで迅速な避難所開設を実現するもの。訓練にお

いて実災害での運用に向けた改善点も見つけられたため、今後さらにアクションカードの実効性を検証し、より一層、本市の防災力を高めるべく取り組んでいく。

地域の郷土芸能を守るための市の取組について

質問 地域の郷土芸能である「お囃子」を守るための取り組みを伺う。

教育長 福生市文化財保護条例に

基づき市内に残る様々な文化財を調査し、郷土の歴史を語るうえで重要であると認定を受けた場合に福生市登録文化財として登録、保護をしている。市内に伝わるお囃子は、「福生の祭囃子」と「福生天王ばやし」の2つで、いずれも調査を行い記録保存するとともに、福生市登録無形民俗文化財として登録し、登録文化財保護奨励金を交付している。

健康や生きがいにつながる活動支援について



公明党
堀 雄一郎 議員



質問 シルバー人材センターの近年の受託額や就業状況、DXの推進など各種取り組みについて伺う。

市長 令和6年度の受託額は3億4898万7766円、就労延べ実人員は1万4298人。令和6年度にウェブからの入会手続きが可能になり、令和7年7月から開始の初年度会費無料制度の影響もあり会員数は増加している。また、ホームページをリニュー

アルすることで発注者がウェブから業務を依頼できるようになり、就労機会の拡大に努めている。また、センターからのお知らせや就業情報など閲覧できる会員専用のサイトを開設し効率的な事業運営を図っている。

質問 ボランティアポイント制度等の拡充について市の所見を伺う。

市長 市では高齢者自らが介護予防への理解を深めることを目的に、

介護保険施設等でのサポーター活動実績に応じポイントを付与し現金と交換できる事業を実施している。現在、新たにフレイル予防に効果があり社会活動への参加が期待できる活動等に対して、アプリを通じポイントを還元する事業の検討を行っている。令和8年度中の事業化に向け、対象とする社会活動や既存のサポーター事業との調整を図っていく。

福生駅周辺における環境について



スポーツ文化を通じて人づくりと街づくりの会
幡垣 正生 議員



質問 福生駅西口喫煙所の状況等について市が講じた対策と今後に向けた所見を伺う。

市長 西口喫煙所のたばこの煙に対する対策として、灰皿スタンドにパーティションによる分煙化がより図られている東口の喫煙所の利用を促す掲示を実施。引き続き福生市美しいまちづくりマナーアップ指導員による指導や、マナーアップキャン

ペーンの継続実施、市広報やホームページ等により喫煙マナー向上の周知徹底等に加えて、東口喫煙所の利用と周知啓発に努めていく。

福生駅西口地区市街地再開発事業について

質問 本事業について市としての今後の考え方を伺う。

市長 本事業は福生市の顔にふさわしい都市環境整備に資する事業で

市としても支援を続けている。一方で、資材高騰や労務単価の上昇のため事業全体にかかる費用が当初と比べ高額となっていると思われることから、財政運営上の懸念があり、事業の成立性が不透明であるため本事業が実現可能なものとなるよう計画を見直してはどうかと伝えた。今後も市として引き続き事業を支援していく考えに変わりはない。



教職員の心身の健康を保つための取組について



立憲民主党
市川 佳樹 議員



質問 令和5年度の文部科学省の調査で教職員の精神疾患による病気休職者数が過去最多となったが、本市の教職員の心身の健康を保つための取り組みについて伺う。

教育長 心の病の予防には、教職員自身が自らのメンタルヘルスの不調に気づくことが大切であるため、本市教育委員会では、教職員を対象としたストレスチェックを年2回実

施し、希望者に東京都教育委員会が実施する様々な相談窓口を紹介している。また、新規採用教員メンター制度では同世代の先輩教員等がメンターを務め、日々の声かけや気軽な相談等を心がけることで新規採用教員の働きやすい職場環境づくりを促進している。さらに各学校の校長、副校長は、支援を必要としているサインを見逃さないよう定期的に面談

等を実施している。本市教育委員会としては、教師としての力を高めることが教員のメンタルヘルスを健全に保つことにつながるという考えから、指導主事がこまめに学校を訪問し教員の指導力の向上に努めている。今後も福生市立学校の全ての教職員が仕事にやりがいを感じ、心身の健康を保ちながら子どもたちを導くことができるよう学校を支援していく。



動物との共生と環境衛生について



正和会
小澤 芳輝 議員



質問 亡くなった動物の扱いに関する制度による一般的な取り扱いはどうなのか。また、ペット専用の霊園施設を新たに設置する際はどのような手続が必要なのかを伺う。

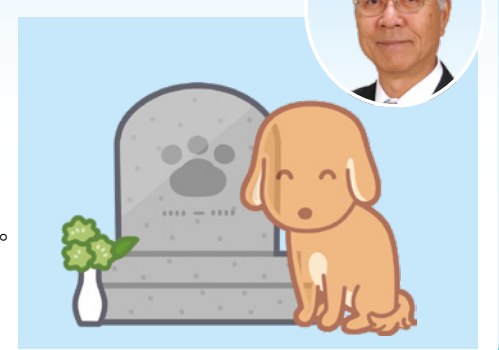
市長 市に登録した飼い犬については、保健センターに死亡届の提出が必要となる。一般的に動物の死体の処理には、①自宅の敷地内に埋葬する方法、②ごみ減量対策課ごみ総

合受付センターに申し込み、所定の手数料を払って市が委託している寺院で埋葬する方法、③ペット専用の霊園事業者に火葬、葬祭、納骨などを依頼する3つの方法がある。なお、公道で犬や猫、鳥等の死体を発見した場合は、ごみ減量対策課ごみ総合受付センターに連絡してほしい。また、動物霊園等の新設手続について、動物に関しては「墓地、埋葬等

に関する法律」は適用されず、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」にも当たらないため、通常の建築確認申請等の手続を行うこととなる。

質問 動物霊園事業の設置等について、規制が必要と考えるが条例等により規制している自治体はあるか。

生活環境部長 近隣自治体では、八王子市、あきる野市、武蔵村山市などが条例で対応している。



福生市立学校在り方検討委員会及び学校再編について



日本共産党
市毛 雅大 議員



質問 「福生市立学校在り方検討委員会」設置の趣旨、経緯、背景及び「令和における福生市立学校の在り方検討委員会」との役割の違いや福生市立学校再編に向けた23の提言報告の内容を伺う。

教育長 本市の教育課題の解決と学校教育に対する市民の思いや願いの実現を目指し、令和4年度から3年間「令和における福生市立学校の

在り方検討委員会」を設置。多面的、多角的に議論し7つの総括をまとめた。今年度設置した「福生市立学校在り方検討委員会」は、これまでの7つの総括を踏まえつつ、公共施設マネジメントを専門とする有識者を加え、学校再編を念頭に熟議を重ねて、報告書にまとめた。本報告書は市立学校の現状、これからの教育や学校の在り方など4つの視点、23の

項目に沿って提言されている。今後の本市の学校の在り方を検討する上で極めて有用なものと認識している。

質問 検討委員会では学校再編に関し少人数学級について言及されたか。小・中学校ともに35人で試算だが、それ以外の人数で試算はしたか。

教育部長 少人数学級についての意見はなく、小・中学校ともに35人学級以外の試算は行っていない。



▲福生市立学校在り方検討委員会の会議の様子

公民館事業の現状と今後の展望について



日本共産党
伊藤 広美 議員



質問 福生市では社会教育が盛んであり、3館の公民館は市民がいつでも自由に集まれるコミュニティ、生きがいがつくりの場となっていると感じられるが、公民館事業の現状と今後の展望について伺う。

教育長 市民の誰もが生涯を通して学びによって活躍することができるよう、また気軽に生涯学習に取り組めるよう、環境の充実を図ること

が重要である。現在、公民館3館は市民の自主的な学習を支援する教育機関として150団体を超える公民館サークルを支援している。各館のまつりや市民文化祭の実施など市民の学習成果発表の場を提供するとともに、公民館職員が企画・立案して年間40コース以上の公民館主催講座を実施し、学習機会の提供に努めている。今後も少子高齢化の中でも地域

コミュニティを支える基盤としての役割を担えるよう、時代に即した在り方を検討し、学習環境の整備と学習機会の充実に努めていく。

質問 今回の「だれでもなんでも展」に高校生が参加した経緯は。

教育部長 令和6年度の主催講座に市内高校生が参加したことをきっかけに交流が生まれ、今年度の模擬店運営につながった。



▲だれでもなんでも展の作品の一部

外国人との秩序ある共生社会をめざす福生市の取組について



日本維新の会
西尾 壽々斗 議員



質問 本市の外国人住民との共生に関する包括的な基本方針やビジョンについて現状を伺う。また、守るべきルールと受けるべき支援をセットで示す必要があると思うが、市長の考えは。

市長 本市における外国人住民との共生に関する包括的な基本方針は福生市総合計画（第5期）後期基本計画に定めている。本市は外国人人口

比率が都内26市の中で最も高いことから、市の事業への外国人の参画や外国人コミュニティ等との連携、異文化の相互理解などに向けて多文化共生に資する事業の推進を図ることとしている。先進的な取り組みでは、スマートフォン等で撮影したごみや資源の写真画像からAIが分別方法やごみの出し方を18言語により案内する「福生ごみナビ」の試験運

用や、日本語を母語としない子どもが学習や相談、交流ができる場所「多文化キッズサロンうえるかむ」を本年4月に武蔵野台児童館2階に開設した。また、外国人との秩序ある共生については、今後、国において経済成長や税・社会保障等、様々な要素を踏まえた議論が行われるため、市の施策への影響について国の動きを注視していく考えである。

福生市公式観光情報Instagram「DiscoveryFussa」について



公明党
青木 健 議員



▲DiscoveryFussaのロゴマーク

質問 写真や動画を中心としたSNSであるInstagramを活用した福生市公式観光情報アカウント「DiscoveryFussa」の開設に至った経緯や運用体制、今後の展開等について伺う。

市長 観光需要の高まりを受け、福生市観光振興計画の策定に着手し観光振興を推進する中で、誘客促進やリピーターの獲得などに狙いを定

め、市内外に対してより効果的に市の魅力を発信する目的で、令和7年7月に福生市公式観光情報アカウントを開設した。福生市を訪れた方々が市の魅力を発見（ディスカバリー）する一助となるよう観光やイベントに関する情報を中心に写真や動画を積極的に発信し、投稿数は開設以来約4か月で150件を超えている。運用体制は運用ポリシー及び市のセキ

ュリティポリシーの遵守を前提に、担当者が主体的に魅力的な内容の情報を高い頻度で発信できる体制を整えている。今後の展開として、インバウンド需要拡大に向けた多言語変換による投稿や、アクセス情報の分析を基に写真や動画のクオリティーの向上を図り、市の魅力を広く積極的に発信して世界中から訪れたい街として認識されるよう努めていく。

学校給食について



生活者ネットワーク
三原 智子 議員



質問 学校給食の食品ロス削減の取り組みについて伺う。

教育長 具体的な取り組みとして、学校給食センターでは、献立に応じた必要量の食材を購入し、調理は極力食材の廃棄がないよう努めている。各小・中学校においては、SDGsの観点から、教員による給食指導を基本に、栄養教諭による食育の授業や、防災食育センターへの社会科見

学での食育指導など、児童・生徒一人一人が自ら食べ残しを減らせるよう取り組みを進めている。また、防災食育センター内の食育ブースに、食品ロス削減コーナーを設け、児童・生徒はもとより、保護者や地域の方々にも、食育の推進、食品ロスの削減の取り組みに関して、広く周知を行っている。

質問 ここ数年の給食残菜率の平

均はどれくらいか。また、牛乳の残菜率についても伺う。

教育部長 残菜率は、令和3年度から令和6年度までの全体の平均値で、小学校7校は17.3%、中学校3校は21%である。牛乳は汁物と同じ食缶で戻されるため、単独での残菜率は把握していないが、参考値として汁物の残菜率は、小学校7校で16.7%、中学校3校で20.9%である。

陳情

◆不採択
○福生市内の小・中・高・特別支援学校における「いじめ」をなくす取組に関する陳情書（7/11号）

（不採択理由）

いじめの認知件数は、実態を正確に示す指標ではなく、件数のみが独り歩きすれば教育現場に委縮をもたらしかねない。本市では、年間を通じて学校いじめ対策委員会を活用するなど組織的かつ丁寧に取り組んでいることから、意に沿い難い。

○職員団体の組合費給与天引きチェックオフ手続の適正運用及び行政の政治的中立性確保を求める陳情書（7/12号）

（不採択理由）

法令遵守のもと、事務効率化と労使の安定のため合理的に運用されている。また、職員の政治的中立性は継続的な職員研修が行われ、職員の自由意思が反映されないような事例はないことから、意に沿い難い。

討論

●福生市体育施設条例の一部を改正する条例

■反対

福生市総合グラウンド及び南公園グラウンドの使用料を値上げするものだが、公共施設は国民の使用料を値上げするものではない。また、国民の負担を軽減する観点から、利用促進にはむしろ値下げが無償化などの検討や利用を呼びかける姿勢が求められるべきで、受益者負担適正化の名の下に市民負担を増やす方向性は公共施設、本公案に反対する。

●福生市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

■反対

消費物価指数の上昇と働く人の実質賃金の減少が続く中、多くの市民が生活維持に苦しんでいる状況で、市民の代表者である議員の給与を上げることは理解を得ることは難しい。一日も早く市民全体の暮らしが向上する状況になれば、胸を張って引上げを検討できる状況になる。本案に反対する。

■反対

物価高騰や生活必需品の値上げが続き、市民生活が依然として厳しい中、自らの期末手当を引き上げることは市民の受け止め方を考え、慎重な判断が求められる。また、本市の福祉状況を踏まえ、防災・インフラ整備など市民生活に直結する分野へ優先的に活用すべきである。本案に反対する。

議員提出議案第1号

再審法（刑事訴訟法の再審規定）の見直しを求める意見書

令和6年10月9日、静岡4人強盗殺人・放火事件（いわゆる「袴田事件」）の再審公判における無罪判決が、検察官の上訴権の放棄により確定した。

無罪判決までに、袴田巖氏の逮捕から58年、最初の再審開始決定から10年もの歳月を要したということは、我が国の再審制度が機能していないことを如実に示しており、刑事訴訟法第4編「再審」（再審手続に関する規定）の改正はまさに待たなしの状況である。

福生市議会は、国に対し、再審制度の信頼性を高めるため、次の事項について早期の法改正を求める。

1 再審請求手続における証拠開示制度を法的に明確化し、検察官が保有する証拠を開示する仕組みを整備すること。

2 再審開始決定に対する検察の不服申立制度について、濫用防止の観点から厳格な運用基準を設け、迅速な再審開始を可能とすること。

3 再審手続全体の透明性と予見可能性を確保するため、判断基準や審査手続きを法的に整備し、全国で統一した運用がなされるよう制度を再構築すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和7年12月19日

（提出先 内閣総理大臣、法務大臣、衆議院議長、参議院議長）

ケーブルテレビによる議会中継

多摩ケーブルネットワークでも本会議の生中継を放映します。ぜひご覧ください。

ご利用ください 市議会インターネット中継

◆配信内容
◆利用方法

本会議のライブ映像と録画映像
福生市公式ホームページ「福生市議会」→「インターネット中継」よりアクセス



福生市議会インターネット中継

議案の審議結果 (○賛成 × 反対)

録画映像をご覧くださいます

※スポーツ・文化を通じて人づくりと街づくりの会



令和7年第4回定例会	議案番号	議案名	正和会	公明党	日本共産党	生活者ネットワーク	立憲民主党	日本維新の会	スポーツ・文化の会	議決結果
	市長提出議案									
	議案第49号	福生市議会議員及び福生市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第50号	福生市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第51号	福生市立学校設置条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第52号	福生市体育施設条例の一部を改正する条例	○	○	×	○	○	○	○	可決
	議案第53号	福生市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第54号	福生市営住宅条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第55号	福生市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第56号	令和7年度福生市一般会計補正予算(第6号)	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第57号	福生第二小学校防音機能復旧(復機)工事(空調設備)請負契約	○	○	○	○	○	○	○	同意
	議案第58号	福生第四小学校空調設備等改良第2期工事(空調設備)請負契約	○	○	○	○	○	○	○	同意
	議案第63号	福生市の一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第62号	福生市長等の給与に関する条例の一部を改正する条例	○	○	×	○	○	×	○	可決
	議案第59号	福生市一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第61号	福生市会計年度任用職員の報酬等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第60号	福生市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	×	○	○	×	×	可決
	議案第64号	令和7年度福生市一般会計補正予算(第7号)	○	○	○	○	○	○	○	可決
	諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦に関する意見聴取について	○	○	○	○	○	○	○	意義ない旨を答申
	議員提出議案									
議員提出議案第1号	再審法(刑事訴訟法の再審規定)の見直しを求める意見書		○	○	○	○	○	○	○	可決

可決等された案件(要旨)

●福生市議会議員及び福生市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例

公職選挙法施行令の一部改正に伴い、福生市議会議員及び福生市長の選挙におけるビラ及びポスターの作成に係る公費負担額を改めるため、条例を改正するもの。

●福生市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例

国における医療DX推進の取り組みとして、デジタル庁が開発した自治体・医療機関等をつなぐ情報連携システムへ心身障害者の医療費の助成に係る資格情報を連携するに当たり、心身障害者の医療費の助成に関する事務を個人番号利用事務に加えるとともに規定を整備するため、条例を改正するもの。

●福生市立学校設置条例の一部を改正する条例

義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会の確保等に関する法律の規定に基づき、不登校生徒等に対する教育の機会を確保するため、福生第一中学校に分校を

設置することから、条例を改正するもの。

●福生市体育施設条例の一部を改正する条例

福生市営福東総合グラウンド及び福生市営南公園グラウンドの使用料につき、使用料・手数料等受益者負担適正化方針に基づき見直しを検討した結果、使用料を引き上げることが適当との結論に至り金額を改正するため、条例を改正するもの。

●福生市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例

特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準等について、国の定める基準の見直しを契機に今後の制度改正に機動的に対応し、事業の運営等の安全性を確保するため、関係する条例の内容を見直すもの。

●福生市営住宅条例の一部を改正する条例

木造市営住宅の取壊しに伴い当該市営住宅に係る規定を削除することから、条例を改正するもの。

●福生市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例

子ども・子育て支援法の一部改正に伴い、特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める

ため、条例を新たに制定するもの。

●令和7年度福生市一般会計補正予算(第6号)

歳入では特定防衛施設周辺整備調整交付金の増額など、歳出では介護給付費などの障害者福祉費、保育所等熱中症対策支援事業補助金などの子ども育成費などの増額に当たり、歳入歳出それぞれ4億669万7千円を追加、総額317億9534万5千円とするもの。

主な歳入は、国有提供施設等所在市町村助成交付金等、基地交付金の交付額が確定、17億8101万8千円で前年度比2・5%増。国庫補助金が個人番号事務に係る番号制度事務費補助金、戸籍事務に係る番号制度整備事業補助金や特定防衛施設周辺整備調整交付金で2億3767万5千円。

歳出では、社会福祉費が障害者福祉費の介護及び訓練等給付事業及び障害児通所給付事業の増で1億6680万8千円。

児童福祉費が子ども育成費の保育所・幼稚園等物価高騰対策補助金や保育所等熱中症対策支援事業補助金や乳幼児及び高校生等医療費助成事業の増で1992万2千円。

このほか、福生第四小学校空調設備等改良事業で工事の一部が入札不調から今年度中の実施が不可能となり、1億845

0万4千円を令和8年度へ繰越明許を設定する。

●福生第二小学校防音機能復旧(復機)工事(空調設備)請負契約

同校の空調設備改良工事を発注するに当たり、その予定価格が1億5千万円以上となることから条例の規定により議会の同意を得るもの。

●福生第四小学校空調設備等改良第2期工事(空調設備)請負契約

同校の空調設備改良工事を発注するに当たり、その予定価格が1億5千万円以上となることから条例の規定により議会の同意を得るもの。

●福生市の一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

東京都の給与改定に準じて一般職の職員の期末手当及び勤勉手当の支給割合並びに給料表を改定するとともに、令和7年12月期の期末手当及び勤勉手当の支給割合の特例を定めるため、条例を改正するもの。

●福生市長等の給与に関する条例の一部を改正する条例

一般職と同様に、市長等に支給する期末手当の支給割合を改定するとともに、令和7年12月期の期末手当の支給割合の特例を定めるため、条例を改正するもの。

●福生市一般職の任期付職員の採用及び給与の特

例に関する条例の一部を改正する条例

東京都の給与改定に準じて特定任期付職員の給料表及び期末手当の支給割合を改定するため、条例を改正するもの。

●福生市会計年度任用職員の報酬等に関する条例の一部を改正する条例

東京都の給与改定に準じて会計年度任用職員の期末手当及び勤勉手当の支給割合の特例を定めるため、条例を改正するもの。

●福生市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

市議会議員に支給する期末手当の支給割合の改定とともに、令和7年12月期の期末手当の支給割合の特例を定めるため、条例を改正するもの。

●令和7年度福生市一般会計補正予算(第7号)

給与改定等に伴う職員人件費や会計年度任用職員手当などを増額するに当たり、歳入歳出にそれぞれ1億3038万7千円を追加、総額を319億2573万2千円とするもの。

●人権擁護委員候補者の推薦に関する意見聴取について

平野裕子氏の任期満了に伴い、新たに渥美孝子氏を人権擁護委員として法務大臣に推薦することに異議ない旨を答申するもの。

行政視察報告

全国の市町村の特色ある施策を今後のまちづくりの参考にするため実施した常任委員会の先進市視察について報告します。
なお、視察報告書の全文を市議会ホームページに掲載しています。
※ 右のQRコードよりご覧いただけます。



建設環境委員会

令和7年10月6日(月)～10月7日(火)
視察先 ①愛知県西尾市 ②静岡県焼津市

① 多文化共生と国際交流の取り組みについて

自動車メーカー関連の工場や製茶、織物の関連工場が市内及び近隣に多く存在し、技能実習や就労目的の外国人が多く、教育、福祉、防災など多くの分野で多文化共生と国際交流の取り組みが行われており、町内会長に外国人市民が就くなど、多くの地域活動に携わっていることを知った。

② スタートアップ支援・商店街チャレンジショップについて

焼津市の創業支援拠点である「焼津PORTERS」は、ワーケーションなどの新たな需要に対応したワーキングスペースや宿泊施設を整備し、地域住民のみならず、県外からの利用者と呼び込むにぎわいの交流の拠点として、市と民間企業、漁協との連携協定のもと、民間が主体となり、国の補助事業を活用しつつ段階的に施設整備が行われてきたことを学んだ。



静岡県焼津市

市民厚生委員会

令和7年10月20日(月)～10月21日(火)
視察先 ①奈良県桜井市 ②大阪府堺市

① 桜井市まほろばセンターについて

屋内あそび場である「ひみっこぱーく」をはじめ、地域子育て支援拠点、市民団体の活動支援機能、健康ステーションなどが整備されており、駅前に多世代が集うことを想定した機能を集約する手法は、今後の福生市の公共施設の老朽化対策・再配置に非常に参考となった。

② 「介護予防あ・し・たプロジェクト」について

本事業は行動変容を促す多面的な介入を通じて、地域住民の主体的な参加と生活機能の維持向上に明確な効果を挙げている。これは成果連動型民間委託契約方式(PFS)を導入したことによるところが大きく、民間の創意工夫を活かしつつ、事業成果に応じた報酬支払いにより公共投資の効率性・効果を高めていることから、行政改革の推進の観点も踏まえ導入可否について調査研究を進めたい。



奈良県桜井市

総務文教委員会

令和7年10月30日(木)～10月31日(金)
視察先 宮城県石巻市

① 東日本大震災で被災した学校の、児童生徒等がどのように学びを再開したか等について

授業再開では、被災しなかった学校での再開や一日でも早く「日常の平穏を取り戻す」ことを職員のスローガンとし、取り組んだことや、児童生徒の防災教育や安全教育では、「命を守る」ことを第一に、避難訓練や防災学習、学校防災推進会議・学校安全推進課を設置するなどし、安心・安全な学校環境づくりに取り組んで来ていることを学んだ。

② 震災遺構門脇小学校・大川小学校施設見学

学校管理下児童で一人の犠牲者も出さなかった「門脇小学校」の臨機応変な避難対応、大きな犠牲者を出してしまった「大川小学校」の避難誘導の責任や難しさ、防災・減災訓練やハザードマップの重要性等について学んだ。



宮城県石巻市



▲木造の市営住宅

答 西多摩衛生組合歳入予算における、前年度

について伺う。

709万6千円の減額に

問 事業No18清掃事務の

西多摩衛生組合負担金1、

令和7年度福生市一般

会計補正予算(第6号)

(建設環境委員会所管分)

●令和7年度福生市一般

会計補正予算(第6号)

(建設環境委員会所管分)

●令和7年度福生市一般

会計補正予算(第6号)

(建設環境委員会所管分)

●令和7年度福生市一般

会計補正予算(第6号)

(建設環境委員会所管分)

●令和7年度福生市一般

支援事業の運営に関する

基準を定める条例

●福生市特定乳児等通園

基準を定める条例

●福生市特定乳児等通園

基準を定める条例

●福生市特定乳児等通園

基準を定める条例

●福生市特定乳児等通園

基準を定める条例

●福生市特定乳児等通園

基準を定める条例

●福生市特定乳児等通園

基準を定める条例

●福生市特定乳児等通園

基準を定める条例

●福生市特定乳児等通園

基準を定める条例

●福生市特定乳児等通園

基準を定める条例

●福生市特定乳児等通園

基準を定める条例

●令和7年度福生市一般

会計補正予算(第6号)

(市民厚生委員会所管分)

●令和7年度福生市一般

会計補正予算(第6号)

(市民厚生委員会所管分)

●令和7年度福生市一般

会計補正予算(第6号)

(市民厚生委員会所管分)

●令和7年度福生市一般

会計補正予算(第6号)

(市民厚生委員会所管分)

●令和7年度福生市一般

会計補正予算(第6号)

(市民厚生委員会所管分)

●令和7年度福生市一般

会計補正予算(第6号)

(市民厚生委員会所管分)

●令和7年度福生市一般

会計補正予算(第6号)

(市民厚生委員会所管分)

●令和7年度福生市一般

●令和7年度福生市一般

会計補正予算(第6号)

(市民厚生委員会所管分)

●令和7年度福生市一般

会計補正予算(第6号)

(市民厚生委員会所管分)

●令和7年度福生市一般

会計補正予算(第6号)

(市民厚生委員会所管分)

●令和7年度福生市一般

会計補正予算(第6号)

(市民厚生委員会所管分)

●令和7年度福生市一般

会計補正予算(第6号)

(市民厚生委員会所管分)

●令和7年度福生市一般

会計補正予算(第6号)

(市民厚生委員会所管分)

●令和7年度福生市一般

会計補正予算(第6号)

(市民厚生委員会所管分)

●令和7年度福生市一般

●令和7年度福生市一般

会計補正予算(第6号)

(市民厚生委員会所管分)

●令和7年度福生市一般

会計補正予算(第6号)

(市民厚生委員会所管分)

●令和7年度福生市一般

会計補正予算(第6号)

(市民厚生委員会所管分)

●令和7年度福生市一般

会計補正予算(第6号)

(市民厚生委員会所管分)

●令和7年度福生市一般

会計補正予算(第6号)

(市民厚生委員会所管分)

●令和7年度福生市一般

会計補正予算(第6号)

(市民厚生委員会所管分)

●令和7年度福生市一般

会計補正予算(第6号)

(市民厚生委員会所管分)

●令和7年度福生市一般



総務文教委員会

12月11日に委員会が開

催され、7件の議案を審

査し、原案のとおり可決

されました。また、陳情

2件については、不採択

となりました。

●福生市議会議員及び福

生市長の選挙における選

挙運動の公費負担に関す

る条例の一部を改正する

提供する鉄道会社ごとで

異なるが、東日本旅客鉄

道会社では、第1種障害

者とその介護者が普通乗

車券、回数乗車券、普通

急行券を購入する際に50

%の割引が適用される。

問 統合端末電算機借

上料等の詳細について伺

う。

答 統合端末は現在12

台保有・運用しているが、

その内の4台について、

ウィンドウズ10のサポー

ト終了に伴い、入れ替え

を行う。また、マイナン

バーカードに関する手続

が増加していること等か

ら、3台を追加導入する。

基準を設定するという見地から、必要な基準額の改定を行ったものと考えている。

●福生市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報等の提供に関する条例の一部を改正する条例

問 心身障害者の医療費の助成に関する事務をDX化するということであると思うが、どのようなメリットがあるのか伺う。

答 デジタル庁が自治体、医療機関等をつなぐ情報連携システムとして開発したものであり、これまで、心身障害者(児)医療費助成制度の対象者は、紙の受給者証を医療機関等の窓口で提示する必要があったが、マイナ保険証を利用することで受給者証持参の手間が省けることがメリットとして挙げられる。

●福生市立学校設置条例の一部を改正する条例

問 福生市立牛浜もくせい中学校の4月からの入学者は何名を見込んでいるのか、また、この中学校の分校としては1か所ということから、生徒によつては2キロを超える通学者もいると思うが、どのように対応する見込みか伺う。

答 現時点では、新2年生及び新3年生7名と、既に入學申請書が提出さ

れている新1年生1名の計8名であるが、今後数名の新1年生の入學申請書の提出を見込んでいます。

また、遠くから通う生徒の通学方法は、公共交通機関による通学及び公共交通機関による通学が困難な場合は自転車通学を認めることとしている。



▲牛浜もくせい中学校が入る校舎(2階部分)

●福生市体育施設条例の一部を改正する条例

問 二つのグラウンドについて使用料が上がるということだが、その理由及び周知について伺う。

答 現行の使用料の設定が、市の原価計算の指標である100%を大幅に超え、それぞれの施設の使用料設定が300%以上となっている。計算上、本来ならば3倍の値上げが必要ではあるが、激変緩和の考え方から、原則現行料金の150%の額を改定の上限額としていることから、300円の1.5倍の450円としたものである。利用者への周知は、料金改定の決定後にそれぞれの施設の窓口に料金改定の案内を掲出するほか、市のホー

ムページ、広報紙等での周知に加え、施設利用の抽せん会においても、直接利用者に周知を図っていく予定である。

●令和7年度福生市一般会計補正予算(第6号)

(総務文教委員会所管分) 給食食材の調達事務について、補正に至った経緯について伺う。

答 食材価格については想定外の高騰が続いている状況がある。そのため、学校給食センターでは、食材の一括購入や、可能な限り安価でかつ良質な食材を活用した献立を工夫するなど、様々な工夫を行ってきたが、現時点においても食材の高騰に歯止めがかからない状況である。これらの取り組みを行いながらも、年度末に向けて給食食材費に不足が見込まれることから、今回、補正予算と合わせたものである。

問 中央体育館改良事業の内容について伺う。

答 改修を想定している設計内容では、主競技場へは、冷房及び暖房共用の機器設置を検討している。バリアフリー化でのトイレの改修については、1階部分、2階部分の全てのトイレの改修を考えている。照明器具のLEDでは、主競技場、柔剣道場、卓球場をはじめ、通路部分や事務所内にある全ての蛍光灯や水銀灯の交換を想定して設計を

行いたいと考えている。

●福生第二小学校防音機能復旧(復機)工事(空調設備)請負契約

問 工事の施行時期と学校との調整等について伺う。

答 令和8年3月頃、現場着手をする予定である。学校との調整は済んでおり、春季休業期間中と夏季休業期間中を中心に施工を行い、それ以外の期間は、授業に支障の出ない工事を放課後や土日を活用しながら実施する予定である。

●福生第四小学校空調設備等改良第2期工事(空調設備)請負契約

問 現状で主にどのような不具合が起きていたか。また、全熱交換器の記載がないが、交換しないのか伺う。

答 空調の効き具合の差があるなどの不具合が発生している。全熱交換器については、契約に含まれている。

議会運営委員会

定例会の会期や本会議の議事日程、一般質問、議案、市民等から提出された陳情の取り扱い等の協議及び議会だよりの編集を行う議会運営委員会が閉会中も含め11回開催されました。

また、これまでに引き続き議会基本条例の制定に向け協議を行いました。

特別委員会活動から

横田基地対策特別委員会

11月25日に委員会が開催され、1件の議題について審査しました。

1 降下訓練における場

外羽村市)降着について 11月18日に羽村市で発生した、米陸軍兵士による区域外降着(パラシュート降下訓練による横田基地外への降着)について、委員会開催前に情報提供があった。横田基地対策特別委員会では、原因究明を行い、再発防止と安全確保に努めるよう、各関係機関に対し要請することを決定した。

12月12日に委員会が開催され、2件の議題について審査しました。

●横田基地に関する情報等について 9月16日から24日の「令和7年度米豪軍との実動訓練(オリエント・シールド25)」について、米軍人の人員輸送のため、米軍のチャーター機が飛来するとの情報提供。市民からの期間中の軍用機への騒音苦情が1件あった。

10月2日の「令和7年度第4回国内における米空軍機からの降下訓練」について、東富士演習場にて空挺降下訓練、物料投下訓練を実施。市民か

らの期間中の軍用機への騒音苦情が1件あった。

11月28日「横田基地における正月三が日の飛行停止の要請」を、東京都と横田基地周辺5市1町で構成する横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会から行った。

2 東京都福生市内に落下したパラシュートについて 12月1日、熊川児童館屋上で児童館職員により米軍のものと思われるものが発見され、同日中に市職員が回収するとともに北関東防衛局に連絡し、12月2日に北関東防衛局が回収した。米軍に確認したところ、これは米軍のものであることが判明。併せて判明した事実として、11月20日に米軍兵士が空挺降下訓練中に主降下傘を切り離した後、予備降下傘を使用して横田基地に着地。切り離れた主降下傘は風によりコースを外れ、横田基地の外

に落下。当該降下傘については、米軍が同日夜に福生市内熊川児童館敷地内で回収した。また、熊川児童館屋上で発見されたものは、この着地に関連する誘導傘(パイロットシュート)であった。米側の損害なし、部外への被害、影響等なし。12月9日には、福生市から米軍及び国に対し強く抗議を行った。

横田基地対策特別委員会においても、各関係機関に対し強く抗議する旨、決定した。

「声の市議会だより」をお届けしています

音訳ボランティア「福生いとでんわ」により、市議会だよりの音訳をディジー方式のCDにして、視覚障害者(1・2級)の方にお届けしています。ご家族やお知り合いで、希望される方がいらっしゃいましたら、ご連絡ください。

議会事務局 ☎042-551-1523

専用の再生機が必要となりますが、利用対象者は日常生活用具として給付を受けられます。

編集後記

令和7年11月20日、横田基地所属のC・130輸送機によるパラシュート降下訓練で、福生市の熊川児童館の敷地や屋上に、米軍の降下用のパラシュートが落下する事故が発生しました。このような落下物は、人命に関わりかねない事故につながるため、横田基地対策特別委員会において、事故の原因を明らかにし、再発防止を徹底する抗議文が審査可決されました。そして、議会運営委員会を経て、米軍及び防衛省等へ送付されました。

また、今定例会の議案審議では、これまで不登校の生徒が安心して学べる場としての分教室から、分校「福生市立牛浜もくせい中学校」として設置する条例が可決されました。その他、学校給食の食材価格高騰に伴う材料費の増額や松林会館及び中央体育館の空調整備やトイレのバリアフリー改修を設計する補正予算なども可決されました。

本年も福生市議会は、さらなる飛躍を期し、地域の発展と市民生活の充実に向けて一層努力してまいります。

市民の皆さまにとって希望に満ちた一年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。